

科目名	合唱Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ A	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	荻野 砂和子	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

春学期で習得したハーモニー感を発展させ、まとまりの良いハーモニーを更に迫及する。同時に、アンサンブルの能力をつけるために不可欠な、聴き、響きを合わせる力を育てていくことを目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜を必ず持参する。隣の人に見せてもらうのは不可。持参しない場合は出席できません。コピー譜は原則不可ですが、忘れた場合に授業で使用する箇所のコピー譜を持ってくるのは認めます。授業予定は予め知らせるので、必ず楽譜を見て予習する。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。パート分け。その後発声、ハーモニー練習
- 2回 このみちⅠ パート別の音程、リズムの確認、その後アンサンブル
- 3回 このみちⅠ アンサンブル練習一回目
月と泥棒 パート練習
- 4回 このみちⅠ 歌い込み
月と泥棒 アンサンブル練習1回目
- 5回 私と小鳥と鈴と パート練習
月と泥棒 歌い込み
- 6回 私と小鳥と鈴と アンサンブル練習
水と風と子供 パート練習
- 7回 私と小鳥と鈴と 歌い込み
水と風と子供 アンサンブル練習
- 8回 前半履修曲をグループに分けて発表 評価しあう
- 9回 草山 パート練習
水と風と子供 歌いこみ
- 10回 雪 パート練習
草山 アンサンブル練習
- 11回 雪 アンサンブル練習
草山 歌い込み
- 12回 このみちⅡ パート練習
雪 草山 歌い込み
- 13回 この道Ⅱ アンサンブル練習
全曲 復習
- 14回 全曲復習、課題を決め選択した曲を特に練習する
- 15回 履修曲から選択した箇所を一人ずつ（グループ）練習して発表

注： 学生の習熟度により予定は変更する可能性があります

＝成績評価の方法と評価の基準＝

演習という授業形態なので、出席状況が大きな基準になります。

授業内に行うひとりずつ（グループ）の発表により習熟度を見ます。

=テキスト（必携）=

書籍名：女声合唱のための合唱ファンタジー
みすゞこのみち

作曲：鈴木寛夫

出版社：カワイ出版